

読売ジャイアンツ

今年は内野手！徹底指名で現課題を未来の強みに
宮原は早期活躍の期待を、高校生の成長に希望を

どんな指名だった？ 球団別指名総論

左腕の金丸夢斗を外した後は方向転換をして、将来の主軸候補・石塚裕愷に切り替えたのは鮮やかだった。坂本勇人が晩年にさしかかり、岡本和真がいつメジャーに行ってもおかしくない状況で、将



岡本和真の去就を考えると、荒巻悠への期待度は「3位」以上に大きそうだ

来を見据えた補強ができた。浅野翔吾と石塚と2人のプロスペクトを軸に、これからのチーム、打線を作っていく意志が感じられた。

どんな選手？& どのように生かすの？

1位の石塚裕愷には浅村栄斗（楽天）が重なる。すべてを高水準でこなせるが、遊撃手だけは少し厳しいか。全盛期の「遊撃手・坂本勇人」の姿を求めるのは少々酷だが、浅村や牧秀悟（DeNA）のように内野を守って、打線の中核を担う将来像は十分描ける。坂本が引退するタイミングで、三塁のポジションを石塚が奪うことができたらベスト。レギュラーになれるだけの潜在能力がある。

補強ポイントおさらい

- 1 将来空きポジションの三塁or遊撃手
- 2 即戦力的でチームの軸となる投手
- 3 左打ちの野手
- 4 じっくり育てたい投手

ドラフト採点

75
点

1 石塚 裕愷 (内野手・花咲徳栄高)
将来は三塁でも遊撃でもOKな右の強打者

2 浦田 俊輔 (内野手・九州産業大)
現有戦力と異なるタイプの俊足系遊撃手

3 荒巻 悠 (内野手・上武大)
秋広とポジションも被り気味、競って伸びよ

4 石田 充牙 (投手・北星学園大付高)

5 宮原 駿介 (投手・東海大静岡キャンパス)

過去4年のドラフト指名内訳

	高校生	大学生 (※1)	社会人 (※2)	総数	割合
投手	3	8	4	15	62.5%
捕手	1			1	4.2%
内野手	2	1	1	4	16.7%
外野手	1	2	1	4	16.7%
総数	7	11	6	24	100.0%
割合	29.2%	45.8%	25.0%	100.0%	

※1…プロ入り時の年齢が大学生と近い選手を含む

※2…プロ入り時の年齢が大卒社会人と近い選手を含む

上位指名の 組み合わせ	20	21	22	23
	(投)(投)	(投)(投)	(外)(外)	(投)(投)

育成ドラフト一覧 1:坂本 達也(捕手・富士大) 2:堀江 正太郎(投手・文星芸大付高) 3:鈴木 圭晋(投手・横浜創学館高) 4:吹田 志道(投手・弘前学院聖愛高) 5:西川 歩(投手・山村学園高) 6:竹下 傑空(内野手・明徳義塾高)